

下 北 駅 前 整 備 促 進
特 別 委 員 会 会 議 録

(平 成 1 8 年 5 月 1 2 日)

む つ 市 議 会

下北駅前整備促進特別委員会

○開会の日時 平成18年5月12日 午後 1時00分開会・開議
午後 2時58分閉会

○場 所 本庁舎旧議場

○付託事件 第186回定例会（平成17年12月21日）付託事件
（1）下北駅前整備に関わる諸問題について

○出席委員（14人）

委員長	川下八十美	副委員長	佐々木 肇
委員	濱田栄子	委員	白井二郎
〃	新谷 功	〃	柴田 峯生
〃	久保田昌司	〃	松野 裕而
〃	東谷良久	〃	菊池 広志
〃	目時睦男	〃	杉本 清記
〃	牛滝春夫	〃	川端 澄男

○欠席委員（1人）

委員 田高利美

○説明のため出席した者

助	役	田頭 肇
収 入	役	田中 實
企 画 部	長	渡邊 悟
建 設 部	長	成田 豊
企 画 部 次	長	工藤 武勝
建 設 部 次	長	村田 幸雄
企 画 部 企 画 課	長	奥島 慎一
建 設 部 都 市 計 画 課	長	山本 伸一
建 設 部 都 市 計 画 課 長 補 佐		杉山 重行

参 考 人	蓮井 富士雄
参 考 人	波岡 悦郎

○事務局出席者

事務局長	小島昭夫	次長	長高田文明
総括主幹	工藤昌志	主幹	柳田諭
議事係主	赤石奈穂子	議事係主	葛西信弘

(午後 1時00分 開会・開議)

○委員長(川下八十美) ただいまから下北駅前整備促進特別委員会を開会いたします。

ただいまの出席委員は13人で定足数に達しております。

これから本日の会議を開きます。

本日の特別委員会は、下北駅前整備に関わる諸問題についてを議題とし、審査を行います。

なお、今回の特別委員会から説明員として、企画部のほかに都市計画担当の建設部にも出席をしていただいております。また、前回の会議でご提案があり、決定をしておりました下北駅周辺整備促進協議会から蓮井会長と波岡副会長にも本日お忙しい中、ご意見を賜りたく参考人としてご出席をいただいておりますので、よろしく願いをいたします。

それでは、早速審査に入りますが、その前に4月の人事異動から初めての委員会ということでもありますので、改めて説明員として出席しております企画部長と建設部長から、職員の紹介とごあいさつをお願いいたします。

まず、企画部長からお願いをいたします。

○企画部長(渡邊 悟) それでは、企画部の方からご紹介申し上げます。

企画部の説明員として、私ほか企画部次長の工藤でございます。

○企画部次長(工藤武勝) 工藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○企画部長(渡邊 悟) それから、続きまして、企画課長の奥島でございます。

○企画部企画課長(奥島慎一) 奥島でございます。よろしくどうぞお願いいたします。

○企画部長(渡邊 悟) あと私、企画部長渡邊ですが、以上3名が説明員として参りましたので、よろしくお願いいたします。

○委員長(川下八十美) どうもありがとうございました。

次に、建設部長からお願いいたします。

○建設部長(成田 豊) 平成18年4月1日の人事異動で企画部副理事広報広聴課長から建設部長に配置がえになりました成田豊と申します。よろしくお願いいたします。本日の会議から、説明員として出席させていただくことになりましたので、ひとつよろしくお願いいたします。

なお、私のほかに建設部の関係職員も出席させていただいておりますので、私の方から紹介いたします。

次長の村田は、今所用でちょっとおくれております。

私の後ろの方に都市計画課の山本課長でございます。

○建設部都市計画課長（山本伸一） 山本でございます。よろしく願いいたします。

○建設部長（成田 豊） 同じく都市計画課の杉山課長補佐でございます。

○建設部都市計画課長補佐（杉山重行） 杉山でございます。よろしく願いいたします。

○建設部長（成田 豊） 今後の会議にもこういうメンバーで出席させていただきますので、よろしく願いいたします。

○委員長（川下八十美） どうもありがとうございました。

次に、本日参考人としてご出席をいただいております下北駅周辺整備促進協議会の蓮井富士雄会長からごあいさつをお願いいたします。

○蓮井富士雄参考人 ただいまご紹介をいただきました蓮井です。

本日は、下北駅前整備促進特別委員会にお招きをいただきまして、まことにありがとうございました。後ほど私の方からこの会の設立に至るまでと、それから現在抱えておる問題点についてお願いをいたしますので、どうかよろしくお願いをいたします。

○委員長（川下八十美） それでは、同じく同協議会の波岡悦郎副会長をお願いいたします。

○波岡悦郎参考人 非常に高い席で、ちょっとほどよい緊張をしております。今ご紹介いただきました波岡でございます。

平成6年にこの会が発足し、私も平成5年ですけれども、中央町にちょっと店を出しまして、下北駅に近いところで商売をしているということでもって、この会に入らないかというお誘いを受けまして、発足当時から入会いたしました。蓮井会長のもと、長年副会長という要職をやらせていただいております。

会の経緯等につきましては、後で時間があるそうですので、そちらの方で報告させていただきます。よろしく願いいたします。

○委員長（川下八十美） どうもありがとうございました。

建設部の村田次長がおいでになったようでございます。

建設部次長（村田幸雄） 時間におくれまして申しわけございません。建設部次長の村田です。よろしく願いいたします。

○委員長（川下八十美） 以上でごあいさつを終わらせていただきます。

次は、本日の会議の進め方についてであります。前回の会議でも、委員の皆様にはご確認をいただき、またご案内を申し上げておりますように、

この後休憩をとりまして、説明員同行のもとで下北駅前での現地視察を行いたいと思っております。そして、視察終了後、再びこの場に帰りまして会議を再開いたし、企画部から前回の委員会開催以降の経過と現況について報告を求めて、委員からの質疑を受けたいと思っております。その後、本日参考人としてご出席いただいております下北駅周辺整備促進協議会の蓮井会長、波岡副会長から協議会の活動の経緯並びにご意見、ご要望を賜りたいと思っておりますが、このような進め方でよろしいでしょうか、お諮りをいたします。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(川下八十美) ご異議がないようでございますので、本日の会議の流れは、そのようにさせていただきたいと存じます。

それでは、下北駅前現地視察のため、暫時休憩をいたします。

午後 1時08分 休憩

午後 2時00分 再開

○委員長(川下八十美) 休憩前に引き続き会議を開きます。

次は、企画部から、前回の委員会開催以降の経過と現況についての報告をお願いしたいと思います。

○企画部長(渡邊 悟) それでは、簡単に前回から今までの間の経過ということでございますけれども、現場につきましては、ただいま皆様ご視察されましたとおり、およそのところはおわかりかと思えます。それで、土地の交換をして、Aの隣接民有地と の市有地の中の一部を交換するというのを基本的な考え方でこれまで話を進めてまいりまして、これは今順調に進んでおります。ただ、その後の経過ということになりますと、はっきりと内容が決定しまして、新たな形でお示しするようなものというのは、今ほとんどございません。

あと不動産の鑑定結果は出ており3月31日に報告書をいただいております。これをもとにいたしまして、今話を進めている段階でございます。特別これによって障害があるといったような、そういうような経過で今こういう状況になっているわけではございませんで、今順調に話は進んでおります。ただ、JRほかの隣接民有地がありますので、これはお互いに同時進行ということでございます。あと今後の計画、具体的な測量、それから実施設計の委託ということでございますけれども、これにつきましては今現在進行中でございます。この用地測量委託につきましても、5月31日までということになっておりますので、今進行中ということでございます。その後の実施設計

委託は、それよりも先ということでございまして、まだかなり先になろうと思います。その後には事業認定ということになりますので、この事業認定はかなりかかります。大体1年近くかかるというのが通例でございまして、これを短縮してもらえるかどうかわかりませんが、今そういう状況で進んでいるという、中途の段階でございまして、その辺でご了解いただきたいと思えます。

以上、概要でございまして。

○委員長(川下八十美) ただいまの報告について質疑を受けたいと思えます。

なお、質疑に当たりましては、前回の会議でもお願いをいたしました、本委員会は下北駅前を整備を促進することを目的として設置されたものであります。したがって、発言に際しましては、その目的にそぐわない特定の個人や法人に対する個人的な思いを話されることのないようご留意をお願いいたします。

それでは、ただいまの報告に対し、質疑ございせんか。

○委員(新谷 功) 前回の特別委員会は、2月14日に行われたわけでございまして、それから数えてみますれば、あと2日ぐらいで3カ月を迎えると、そういうふうになるわけでございまして。ただいまの企画部長の説明によれば、この3カ月間特別な進展がないというように私は承ったのですけれども、その中でも不動産の鑑定は3月31日に出ていると、そういうことで話し合いはなされていると、そういう意味では順調に進んでいると、こういう説明です。実は今の設計の入札の方も前回は5月31日の工期だということで、それなりに進んでいるかと思うのですけれども、部長、この3カ月間に改めて報告するような事柄がない旨の説明があったのですけれども、これどうなのでしょう、土地の鑑定も出て、それをもとにして今検討していると。やっぱりこの土地、市の保有地と民有地の交換ができれば、これはもう解決ということになるわけですが、その辺のことで何か障害があるのかないのか、お聞きしておきたいと思えます。

○企画部長(渡邊 悟) お答えいたします。

障害というのは、特別ございせんけれども、どこに線引き、ブロック塀のありましたBの隣接民有地側の線の引き方で交換するところが逆に決まってくるというようなことですので、微妙に1メートルずらすか、2メートルずらすか。1メートルずらせば、反対側もまたそれに合わせた形でずらさなければならぬということと、あと南側の方には日通が営業してございまして、その日通の営業にどの辺まで食い込むことが可能かというようなことを今協議してございます。基本的な考え方はもう変わらないのですけれども、どうや

ったらいいかと、その境目のところを話し合いして、それで表面上結局結果が出ていないというだけで、話し合いはずっと順調に進んでいるということでございますので、ご了解いただきたいと思えます。

○委員長（川下八十美） ほかにございませんか。

○委員（新谷 功） 今の部長の説明でわかりました。

ところで、部長、この事業は電源三法交付金の1億6,000万円を充当すると。それは、来年の平成19年度中にそれを使用するといえますか、使わなければ返還しなければならないということになっているわけですがけれども、そういう用地等の交渉が解決するのはいつごろになって、平成20年の3月までには間違いなくこの事業が進展するかどうかお聞きしておきたいと思えます。

○企画部長（渡邊 悟） お答えいたします。

1億6,000万円で間に合うということではございませんで、当然不足します。かなりの額が不足いたしますけれども、1億6,000万円をとにかく入れた形で、平成19年度にこの1億6,000万円分は確実に消化しなければ、使わなければならないということで、それに上乗せした形で足りない分をまた新規に電源三法のお金をつぎ込んでいくというようなこととなります。平成19年度で完全に事業が終わるというわけではなくて、当然いろいろその先の事業もありますので、継続になりますけれども、何年かかかります。1億6,000万円を確実に平成19年度で全部使ってしまうと。そのほかに足りない分を上乗せして、次の年度にも当然事業としては継続します。単年度でこれを全部完成するというのは絶対無理でございます。用地取得は、当然この1億6,000万円に入っています。入ってしまして、それも全部含めてとにかく1億6,000万円は、用地も含めて、あと一部工事も含めた形で1億6,000万円は全部使ってしまうと。それでも当然足りませんので、新たな分を上乗せして新しい分、これは1億6,000万円というのは基金として積み立てておきまして、このための事業として1億6,000万円。もし例えば3億円必要であれば、3億円を当初から積み立てることも可能だったかもしれませんが、今までずっと5年ぐらいとまっておりました。その間は積み立てておりません。この1億6,000万円の当初の目的というのは土地の額なのです。これでやるということではなくて、今動き出したために、それに足りない分をさらに上乗せを当然しなければなりません。それを含めて、1年で全部終わるということは当然できませんし、事業認定だけでも、先ほど申し上げましたように1年近くかかると。これは、短くしてもらおうというような努力は当然いたしますけれども、かなりの期間はかかります。それも入れて単年度で全部

完成するというのはほとんど不可能でございます、当然何年かを考えております。二、三年かけて全部を整備しますと。その中で1億6,000万円は平成19年度までに使ってしまおうと。それで足りない分を後々つぎ込んで、全部では相当な額になると思います。3億円、4億円ということになると思いますけれども、1億6,000万円というのは、積み立てて使わなければならないという事情がございます、今急いでいるというようなことでございます。

○委員長（川下八十美） 新谷委員、経過報告だけにとどめさせていただきまして、追って駅前整備に関する具体的な質疑もございますので、そのときに今言ったようなことをもう一度お願いいたします。そうすると、行政の方でも整理がついているかもわかりませんので、ひとつお願いをしたいと思います。

ただいまの部長の報告に対してのみ何かほかに質疑がございましたら、発言を願います。ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（川下八十美） ないようでありますので、以上で報告に対する質疑を終わらせていただきます。

次は、本日参考人としてご出席をいただいております下北駅周辺整備促進協議会の蓮井会長、波岡副会長から協議会の活動の経緯並びにご意見、ご要望を賜りたいと思います。

それでは、まず蓮井会長からよろしくお願いをいたします。

○蓮井富士雄参考人 私の方から、報告とお願いを申し上げたいと思います。

まず初めに、なぜこの協議会がつくられたかということから申し上げたいと思います。昭和63年、下北町内会の総会がありました。初めて総会に出席をさせられまして、突然会長にさせられました。仕掛人と言えは悪いのですが、仕掛人は当会の会員の川端先生でありました。私非常に困惑しまして、1カ月にわたってお断りを申し上げましたが、逃げ切ることができず、仕方なく引き受けた経緯があります。そういうことから、やらなければならないのかなということで、早速町内の活性化と環境美化に努めてまいったわけでございます。

下北町の一角に下北駅がございまして、当時の駅周辺のあり方は目に余る状態であったわけでありまして。ごみ捨て場同様と言っても過言ではないかなと思っております。そういう中、下北駅を利用するお客様には大変不快の念を与えてきたこともまた事実でございます。

一方、JR大湊線は、風でよくとまるという不評の高い線でありました。列車がとまるごとに代行バスが出ます。この代行バスは、下北駅だけが構内

に入ることができないというのが下北駅でございました。代行バスが出るといことは、並大抵の、しけのときというか、風の強いときでなければ出ません。そういう雨、風の強いときにお客様は路上でバスを待つというのが現実でありました。また、乗降作業も路上でと。下北駅が一番お客さんが多い中で、そういう機能の駅でありましたということでございます。

一方、県道下北停車場線、あそこに併設しておりました停車場線でございますが、この道路を見たときに、各町内ごとにバス停があり、バスプールもありましたけれども、またここだけ下北駅だけが、バス停はあるのですが、プールがないというようなことから、代行バスがおお客様の乗降作業をするのは車道で行うということでもあります。

そういうことを見ておまして、バスが乗降作業をするには停車をする、後続の車も停車をする、後続の車はすぐ渋滞という姿というのは大変に惨めな姿でございまして、その始終を見ますと、当時思ったことは、むつ市に政治家の先生方はいないのかなという思いをつくづくしたことがございます。そんな愚痴ばかり言っていたのでは前に進まないということから、また考えを新たにして清掃作業に努めながら、この駅の整備を願うための要望をむつ市当局、関係団体に繰り返し提出してまいりました。

その回答を見ますと、改善に取り組む姿勢は全く見られなかったことで、地域住民が一体となって整備を促進しなければならないという結論になりまして、この協議会の設立に至った次第でございます。

以上がこの協議会の設立に至った経緯であります。後ほどそのときの趣意書等を見ていただければ、またありがたいなと思っております。

次に、協議会が現在抱える問題点について申し上げます。昨年念願でありました駅前整備、ロータリーの建設がようやく決まりまして、やっとの思いでスタートしたこと、本当にありがたく感謝をしておるところでございます。駅前の整備は決まりましたが、もろ手を挙げて喜べない事情もございます。それは、私たちの最終目標であります駅舎の整備がいまだに未定であるということでもあります。当然考えてくださってはいるとは思いつものの、できるまでは気を緩められないなという心配でいっぱいでございます。どうか特別委員会においても、一日も早くよりよい施設がより早く実現するようご尽力を賜りたくお願いをいたす次第でございます。

最後に、当協議会では、ことしの事業計画にJR大湊線の活性化ということ掲げております。近年地方の交通機関は利用が減少しまして、大変経営に苦しんでおるのが実態であります。大湊線は、よい方ではあります、ほうっておくと減少は明らかです。前年比マイナスにはならないという思

いであるわけでございます。利用促進を図りまして、前年比プラス志向にしているいろいろの憶測を吹っ飛ばすという思いで頑張っておるところでございます。

利用促進には、やはり何といたっても利便性、快適性が欠かせない絶対の条件であろうかと思っております。まず利便性ですが、「はやて」との接続を多くするため、八戸行きの快速の増便を求めています。それから、「きらきらみちのく号」リゾート列車、これが半端といいますか、今まともな運転をされておられません。これを通常運転としてダイヤに組み入れていただくということ、それから現行の1両運転を2両編成になどなどを目標にして利用促進を考えております。どうか特別委員会におかれましても、私たちの意をお酌みいただきまして、この活性化にご支援、ご協力賜りますことをお願いいたします。

以上で私の方の報告とお願いを終わらせていただきます。ありがとうございました。

○委員長（川下八十美） どうもありがとうございました。

次に、補足説明として波岡副会長からもよろしくお願い申し上げます。

○波岡悦郎参考人 ただいま蓮井会長から、この会ができるまでの経緯及び要望についてお話がありましたけれども、私はこの会ができてから現在に至るまでの経緯というものを中心にお話し申し上げたいと思います。

皆様のお手元に配布しております事業概況ですが、これは2月の下北駅周辺整備促進協議会の総会資料を抜粋したものでございます。これに発足以来の事業が書いてありますので、後でごゆっくりお読みいただきたいと思うのですが、主なものだけかいつまんで私の方からご説明申し上げたいと思います。

この協議会というのは、駅舎を改築し、駅前広場を整備し、そして周辺を美化し、観光客はもとより、駅を利用する方、地域の方々に楽しんでいただける町にしたいということで発足した会でございます。しかし、最終目的というのがやっぱり駅舎の改築及び駅前広場の整備でございます。平成6年に会ができ、事業概況に載っておりますように、美化運動、陳情等を重ねてまいりましたが、会自体の認知が低く、なかなか市民のための運動であるということを理解してもらえなかったときでありました。市の企画部へ懇談会を申し入れましたが、今懇談会を開いても話すことがないと言われ、市の建設部の方へ、このような会ができて活動したいとあいさつに行っても、まともにちょっと取り合ってもらえないというような時代でありました。そこで、我々のこの協議会というのは、ただ美化運動、そして陳情というのをずっと

重ねてまいりました。

運動を始めて6年の年月がたちました。平成12年12月26日、東奥日報に「むつ早掛沼公園2期工事用地取得難航で休止、新事業に下北駅前整備」との見出しがありました。駅舎のセットバックに伴う移転補償などを含めた事業費は約3億2,100万円を見込んでいると記されてありました。これで本格的に事業が動き出すものと思っておりました。と同時に、もし早掛沼の2期工事が休止にならなかつたら、この事業はいつ着工ができたのだろうかというような複雑な心境もそのときはあったわけでありました。

翌13年7月27日、市企画部との懇談会がようやく行われ、はっきりした日程が示されました。お手元の資料の4ページ下に載っています。平成13年調査、平成14年設計、平成15年工事着工、平成16年継続工事、平成17年完成、この予定でいきますと、去年駅前広場は全部できている予定でありましたが、この懇談会で示された企画部の正式回答ですから、このとおり進むものと全会員が確信をしておりました。ところが、翌平成14年7月15日、企画部より下北駅整備事業は変更を余儀なくされたとの通達がありました。市の予算が逼迫して、新規事業には予算をつけれない状態にあるとのことでした。我々は、この通達には愕然とした思いがございます。本当にこの事業を成就できるのだろうかとの思いになった時期であります。これまでやってきたわけですから、ここでやめるわけにはいかない。状況を見詰めながら、我々のできる範囲で会を継続し、見守っていこうということを理事会で確認したものであります。

それから、さらに3年たった昨年、平成17年8月、市企画部より駅前広場の整備が平成18年度に着工し、平成19年度に完成するという通達を受けたわけがございます。そして、昨年12月21日、市議会におかれましてのこの皆さんの会であります下北駅前整備促進特別委員会が設立されました。

このように、協議会の発足から12年という月日が流れ、紆余曲折がありながらもようやくここまで来て、下北駅前広場の工事が進みそうであります。でも、駅舎の改築はまだ決まっておりません。現在のままの状況、2年後には広場が整備されて駅舎はそのままという状況になろうかと思いますが、そうしますと、広場よりも駅舎の方がもう低くなるということで、非常に利便性の悪いような駅舎及び駅前広場という可能性があります。そのためにも、この特別委員会の皆様には、ぜひ早く駅舎ができますように切なるご協力をお願い申し上げる次第でございます。

我々の運動というのは、12年を数え、うまくいってもあと二、三年はかかります。一つの事業を成就するためには、こんなにも長い年月、そして200人

を超える会員の協力、さらに関係各機関のご指導が必要であり、その上に成り立つ運動でありました。2010年には東北新幹線がいよいよ青森まで開通されます。並行在来線は第三セクターに移管され、現在八戸まで運営している青い森鉄道が2010年には八戸 青森間も運営いたします。しかし、大湊線は並行在来線ではありませんから、JRの経営になりますが、将来はどうか、これはわかりません。先日の新聞報道によりますと、青い森鉄道は実質3億円の赤字と、しかし実際は2,000万円弱のようではありますが、その分は県の方で負担しているということのようでもあります。JRが経営しようが、第三セクターになろうが、廃線だけは住民の力で私はぜひ阻止してほしいなと思っております。

今廃線の話があるというわけではございませんけれども、20年、30年という長いスパンでは、ちょっと考えられなくもないのではないかなと思います。下北駅前が整備され、駅舎が新しくなる、これによって大湊線は廃線しにくくなるような状況になるのではないかなと私は一人思っていますが、これはわかりません。我々の運動というのは、下北駅を整備するとともに、この大湊線を継続させる運動にもつながったのではないかなという思いがあります。

駅舎の早期完成と大湊線が長期にわたり存続することを特別委員会の先生方をお願い申し上げ、私の話は終わらせていただきます。ありがとうございました。

○委員長（川下八十美） どうもありがとうございました。

ただいま貴重なご意見を賜りましたが、せっかくの機会でございますので、今の説明に対し、委員から何かございますればお受けしたいと思えます。参考人に対して何かお聞きしたいことはございませんか。

○委員（瀨田栄子） 駅をよく利用させていただいておりますけれども、コスモスの時期になりますと、とてもコスモスがきれいで、帰ってきたときに、ふっと安らぐのですが、この計画が進んでいきますと、コスモス畑の方はどうなるのかなというふうに考えますけれども、ご答弁できる方、お願いします。

○委員長（川下八十美） 蓮井会長、波岡副会長には、ご答弁できる範囲内で結構でございますので、ただいまのコスモス畑の今後について、ひとつお願いをしたいと思います。

○蓮井富士雄参考人 大変ありがとうございました。

ことは、これが不可能になりました。きょう、実はJRの方から電話がありまして、今までのコスモス畑はできません。いずれ何かの形で企画の方

で考えていただけるでしょうけれども、工事ということで手がかけられないということでもあります。ただ空き地がまだございますので、きょうJRの所長さんとも話をしましたが、バリケードが張ってある線路の間に結構遊んでいる土地が、遊んでいるというか、これは線路用地ですけれども、そこを利用させていただいて、わずかですが、つくりたいなということと、きょう、駅構内を見ていただいたのですけれども、駅の構内はまだ整備がされませんので、コスモスではなくしてほかの花を、この25日にJRと相談しまして、ことしはどういうわけか、JRさんも力を入れまして、所長自ら植えたいと、私もやりたいということで、25日に中の方の定植はします。それから、コスモスは、わずかですけれども、従来どおり違う場所に移動してつくってみたいなと思っておりますので、どうかいろいろとご心配かけておりますけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○波岡悦郎参考人 コスモス畑は、今会長がお話ししたように、なくなるわけではありますが、いろいろ整備されると、あいているところに花を植えるということと、それと改札より中に入りますと、あちこち花がたくさん植えてあります。あれはJRで植えたのではなくて、我が協議会が植えている花なのです。中の方もいわゆるきれいにしていると。そして、来たお客様に少しでも和んでいただくような環境づくりというのを我が協議会がやっているわけがあります。その辺もちょっとご理解いただきたいと思ひます。

○委員長（川下八十美） 濱田委員、よろしゅうございますか。

○委員（濱田栄子） 何かコスモス畑が少なくなるというのは、ちょっと私としては残念だなと思ひますので、空き地を利用して頑張っけてやっけていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○委員長（川下八十美） ほかにございませんか。こういう機会ですから、どうぞ。

○委員（新谷 功） きょうは、蓮井会長、波岡副会長には本当にご苦労さまでございました。この会は、平成6年からと、本当に早い時期から蓮井会長、波岡副会長ともども、今濱田委員がおっしゃったとおり、駅前のコスモス畑、あるいは街路樹の草取り、そういう清掃を私たびたび見てまいって、本当に頭の下がる思いでまいりました。本当に蓮井会長、波岡副会長には、心より御礼を申し上げたいと、このように思っております。

今下北駅前の整備促進がこのように進んでまいったのも、本当に下北駅周辺整備促進協議会の皆様方の力のたまものであろうかと、このようにも思っております。どうぞこれからもお体に十分気をつけて、この事業が成就するまでお互いに頑張っけてまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひいたしま

す。

○委員長（川下八十美） ありがとうございます。

ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（川下八十美） なければ、参考人の説明に対する質疑を終わらせていただきますが、よろしゅうございますか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（川下八十美） それでは、そのように取り計らいたいと思います。

ここで参考人は退席されますが、蓮井会長、波岡副会長には大変お忙しいところ本特別委員会にご出席をいただきましてまことにありがとうございました。今後ともむつ市の表玄関としての役割をなします下北駅前整備促進について格段のご協力をよろしくお願い申し上げたいと存じます。

本日は本当にご苦労さまでございました。ありがとうございました。

暫時休憩します。

午後 2時36分 休憩

午後 2時37分 再開

○委員長（川下八十美） 休憩前に引き続き会議を開きます。

次は、その他についてであります。下北駅前整備促進に関する事で何かございましたら発言を願いたいと存じます。先ほどの新谷委員の発言をも改めてお受けいたしますので、よろしくお願いいたします。何かございませんか。

○委員（柴田峯生） 先ほど企画部長から、現在までの経過のご報告をいただきましたけれども、今後の流れといたしますか、大まかな流れ、年度のいつごろ、では事業の着工に入れるのか、その辺もし現在できておれば、その経過をお知らせ願いたいと思います。

○企画部長（渡邊 悟） お答えいたします。

まだ本当に具体的に厳しい日程というわけではございませんけれども、平成18年度の予定といたしましては、こういった用地の交換の手続を今年度の早い時期に、今5月ですので、ここからそんなに遠くない時期にやりたいというようなこととございます。その後事業認定の委託をやりますけれども、これがちょっと時間がかかります。ただ、平成18年度中に県から事業認定をいただくというような予定で今考えております。

それから、その後県道の協議がありまして、県土整備事務所の方と駅前広場整備に係る県道の側溝の部分について協議を行うということになります。

平成18年度の大きな事業というものは、大体こういうものでございまして、工事として大きいのは、ちょっとまだ入りません。平成19年度に入りまして、今度は用地の取得事務が入ってきますけれども、このときにもちろんJRの用地も取得の対象になります。その後平成19年、平成20年度にかけて広場の整備工事を行うといったようなことで計画はあります。その後支障物の補償ということで、平成20年度以降になりますと、JR、それから東北電力、NTTの各電線、電話線などがありますので、その辺のところの整備、それから広場の整備工事も当然平成19年、平成20年でも入ります。その後JRの駅舎の移転と。これもどういう手順でいくか、重なるかもしれないけれども、この辺は今ちょっと協議しながら進めているといったような状況でございます。

以上、大体概略ですけれども、ご了解いただきたいと思います。

- 委員（柴田峯生） それともう一つ、資金面の関係ですが、1億6,000万円は現在積み立てをされておりました、その範囲での事業がとりあえずは行われると思うのですが、この出ているプランで考えますと、1億6,000万円とどまりそうですか。どうでしょう。その辺お伺いしたいと思います。
- 企画部長（渡邊 悟） おおむね大体3億五、六千万円ぐらいになるのではないかなというようなことで考えております。駅舎等もありますので、その辺の分がどれぐらいになるか、ちょっとまだ精査はしておりませんが、一応そういう状況でございます。
- 委員長（川下八十美） よろしいございますか。
- 企画部長（渡邊 悟） 駅舎等を全部入れますと、約6億円ぐらいになると思います。先ほどは当初の計画でございまして、それに当然上乘せさせる部分と、それから駅舎を考えますと、約6億円前後になるのではないかなというようなことでございます。
- 委員長（川下八十美） ほかにございせんか。
- 委員（新谷 功） この下北駅前整備について、大事なことは、第一に土地の問題、それは市の保有地と民間との土地の交換がスムーズにいくことが第一だと。それから、今年の1月20日に設計委託契約、あるいはそれに伴って不動産鑑定も依頼しておるのですけれども、この設計業務をするに当たっては、基本的には駅舎の建設場所が決まっていなければ、これは常識的に考えて今の段階で、先ほど我々が現地で参考図面を渡されたのですけれども、これには将来の駅舎の計画地が示されているのです。現地での説明等によれば、先ほどこの議場での説明によれば、土地を交換するに当たっても、仮に1メートルでも2メートルでもずれた場合は、せっかく設計業務、これ見れば1

月20日行われた広場の設計委託の入札の業務内容は、その位置が決まっていなければ、また再度これ設計をし直さなければならないということが十分考えられるのではないかなど、こう思われるのです。どうしても私単純に考えれば、昨年の、平成17年12月6日に行われた測量業務、これも含めて、さらには設計ではもっとそれを詰めていくことになるから、そうなれば、あの駅前広場の整備のメインは駅舎にあると思うのです。駅舎の位置によって駐車場、駐輪場、あるいはバスのロータリーをつくる、何を張りつけていくにも駅舎が中心となって進むと思うのですけれども、その点は企画部長、どのように考えておりますか。

○企画部長（渡邊 悟） お答えいたします。

この図面は、今現在の境界を示しての図面でございます、ここにある将来駅舎計画地というのはホームから外れた位置でございます。これは、交換いたしますと、このAの隣接民有地は使える土地になりますので、当然駅舎はこれも含めての考え方になります。当然ホームと駅舎がかかるような形で考えるというのが自然ではないかなどといったようなことで基本的には考えております。よって、この図面でいう将来駅舎計画地というのは、あくまでも現状で、これは大分前の形でありますので、当然決まったものではありませんし、こういう形で当初考えていましたけれども、これをどうしようかということで、交換後の図面は、これとかなり駅舎の位置は違うのではないかなど、当然違ってくるのが当たり前というようなことをご理解いただきたいと思います。もっと左の方に寄ってくると。駅舎の位置は、仰せのとおりかなめでございますので、このままの位置ではないということをご了解いただきたいと思います。

○委員（新谷 功） その説明でもわかるのですけれども、そういうことになれば、またそのときに交換等がなされた折には、駅舎の位置が決まれば、再度測量をし直すということになるかと思うのですけれども、そのように私は理解しておるのです。ところでこの駅前整備のメインは駅舎の改築になるかと思うのですけれども、そこで駅舎の改築といえば、JR東日本と、これは深いかわりを持ってくるわけなのですけれども、その辺JRとの交渉の経過はどうなっているものか。

それから、もう一つ、2月14日に行われた下北駅前整備促進特別委員会の中間報告、2月28日のむつ市議会第187回定例会に中間報告が出ておりましたけれども、ちょっと改めてきょう1ページ目のところを見たのです。そうしたら、市としては、平成8年から駅前広場整備のための土地購入を順次行い、平成15年にはJR東日本と下北駅周辺整備事業に関する基本協定を締結

したと、こういうふうに出たおるのですけれども、これはさきの特別委員会で説明があったかどうか、私は定かでないものですから、この基本協定なるものはどういうものか。委員長におかれまして、その基本協定を我々にコピーをいただければよろしいのかなと、できれば委員長にお願いしたいと、このように思っておるわけです。この2点、JRと駅舎の件でどのような協議が進められて、今どういう状況にあるものか、企画部長からお伺いしておきたいと思います。

○委員長（川下八十美） 説明をさせて、それで足りなければ、今言うように協定の文書を提出するようにさせたいと思いますが、まず説明を求めます。

○企画部長（渡邊 悟） JRとの話については、これは進めるという基本的な考えで同意をいただいております。具体的にどこにやりますかということになりますと、これはまだ用地の交換もしておりませんし、用地の交渉も具体的なものは、まだJRの部分は入っておりません。その中では将来の駅、今かなり低い状態にございますので、あのままではなくて、当然将来の位置も若干変わるのではないかというような話を私今しましたけれども、それも含めてどういう形にしたらいいかと。交換後の土地の形状を見ながら、どこにやるのが一番いいか相談するというところでございます。前の基本的な考え方の協議というのは、これはほとんど余り意味がないかもしれません。改めて今やり直しという形で、基本的にも根本的な考え方をこの交換でも、ホームにかかった駅にしたいということで去年から話を進めてスタートしましたので、今これからということでございます。当然JR東日本盛岡支社との折衝はこれから始まりますけれども、やるのはいいですよと、賛成ですということで結局これスタートしたわけなのです。具体的な部分については、当然これから話はしなければならぬのですけれども、その前に用地を交換できるかどうか、今この山をクリアしてからそっちの方をやるというような段階でございます。

○委員長（川下八十美） 要は基本協定ということは、下北駅の将来の青写真をJRも市も前向きに進めていくという考え方の基本がまとまると、まとまっていると、こういうふうにご理解をしておいていただければありがたいと思うのでございますが、そういうことでひとつよろしくお願いをいたしたいと思います。

ほかにございませんか。

○委員（新谷 功） 今委員長がそういうふうにしたから、ちょっと私今ためらった部分があったのですけれども、それはそういうふうに私も理解したいと思います。そのうえで、そうすれば、これは平成15年の基本協定の

話でございます。ことしは平成18年でございますので、その後この下北駅前広場の整備、あるいは駅舎についてのJRとの協議、あるいは基本的な考え方を打ち合わせしたといえますか、そういう経過があったかどうかだけでも伺いしておきたいと思えます。

○企画部長（渡邊 悟） お答えいたします。

これは、昨年来、もう3回か4回は、日にちはちょっとわかりませんが、私自身も行きましたし、担当の者も行って具体的な話は今進めています。ここで今はっきりこうであるというのは言いかねますが、これは継続してずっと話はしております。その辺でご了解いただきたいと思います。

○委員長（川下八十美） よろしゅうございますか。

ほかに、その他について何かございませんか。

○委員（新谷 功） 2月14日に第1回目の下北駅前整備促進特別委員会が開かれて、その中間報告が、先ほども述べたとおり、むつ市議会第187回定例会で出たのですけれども、このとき実は濱田栄子委員から、この特別委員会をエフエムアジュール放送するべきではないかと。それは、多くの市民に下北駅前整備促進特別委員会の議論を聞いてもらって、そしてそういう機運を盛り上げるべきでないかとの、そういう意味でエフエムアジュール放送はできないものかと。それに対して委員長は、検討してまいりたいと思えますと。それから、さらには私の意見といたしまして、どうしても下北駅前はJR東日本とかかわる部分があるものですから、必要に応じてはJR東日本盛岡支社あるいは仙台支社、東京本社にも要望、陳情活動をするべきでないかと、こういう意見を申しましたところ、中間報告には別の委員からの意見は載っているのですけれども、その点、この2点に対して、委員長がその後検討をしたとすれば、その結果をお聞きしたいと思います。濱田委員からは、この件は私が言ってもいいという了解をもらっておりますので、よろしくお願ひします。

○委員長（川下八十美） 委員長に対するお尋ねだと思っておりますので、その第1点のエフエムアジュール放送についてでございますけれども、全くそのとおりでございますして、そういうご意見は拝聴させていただき、いろいろ検討をさせていただきました。ご承知のとおり、前回は申し上げましたが、この議場では、もとは旧むつ市の議場としてエフエムアジュール放送ができておったのでありますが、今下北文化会館の方で本会議をやっておりまして、放送設備の関係は下北文化会館の方に全部移しまして、本議場でのエフエムアジュール放送は今でき得ない状況になっております。放送設備をさらにいたしますということになりますと、若干の申請等の期間もかかりますし、

諸経費もかかります。それよりも何よりも、ご承知のように、本年度は合併に関するいろいろな補助金を活用させていただいて、来年度の議員の特例が切れた段階での30名の新しい議会の構成からする議場の大改築が予定されております。そういうことになりますと、今エフエムアジュール放送のために二重の経費、手間がかかるということがございます。

率直に申し上げまして、旧むつ市でも浜関根とか浜奥内とか、全市内のエリアに届かない部分がございます。現況でも大畑、川内、脇野沢ではなおさらエフエムアジュール放送が届き得ないということでございます。開かれた議会ということでは、これは委員長としてもご異議がございませんし、副委員長、あるいは議長団とも相談しまして、当分の間は何とかひとつ今の状況で会議を開かせていただきたいと、こういうことでございますので、ご理解を賜りたいと思います。

それから、もう一つの、これは新谷委員からJR東日本盛岡支社、本社等への要望活動のご要望もございました。これにつきましては、他意はございません、委員長報告に盛り込まなかったということについて、私も議事録を見ましたら、そういった要望活動を必要とした場合、またそういう要望活動をどうしてもやらなければいけないというふうなことで委員会として判断した場合においては、本会議に報告をして、議長に本会議での対処をしていただかなければなりません。ということは、私たちの当委員会は、あくまでも下北駅前整備促進に関する特別委員会への付託でございますので、その必要となった時点においては、当然新谷委員言われるように、本会議に報告をいたします。そして、本会議でその判断を仰いで、JR東日本盛岡支社、本社にも要望活動をする段取りになろうかと思っておりますので、そのときには間違いなく本会議にご報告いたしますが、前回の委員長報告にはあえて改まった報告を入れなかったことをひとつご理解いただきたいと、かように存じますので、よろしく願いをいたしたいと思っております。他意はございません。

(「よろしく願いします」の声あり)

○委員長(川下八十美) ほかに何かございますれば、ご遠慮なくひとつ願いをいたしたいと思っております。

(「なし」の声あり)

○委員長(川下八十美) なければ、その他については以上で終わらせていただきますが、いかがでございますか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(川下八十美) ご異議ないようでありますので、以上でその他についてを終わらせていただきます。

次は、今度の中間報告についての取りまとめでございますが、6月定例会の初日に委員長報告として中間報告をいたしたいと思いますが、これについては正副委員長にご一任願えればありがたいと思うのでありますが、いかがでございますか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(川下八十美) ご異議がないようでありますので、そのように決定をさせていただきます。

それでは、お諮りいたしますが、本日の特別委員会は、これをもちまして閉会したいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(川下八十美) ご異議がないようでありますので、以上をもちまして、本日の特別委員会はこれで閉会をいたします。大変ご苦労さまでございました。

(午後 2時58分 閉会)

上記のとおり相違ありません。

下北駅前整備促進特別委員会

委員長 川下八十美